

臨床・障害4 (822~827)

座長 飯田和也・土谷良己

- 822 一MB D児の平仮名文字言語信号系活動の形成
(1)受信活動の形成に至る試み
- 823 一MB D児の平仮名文字言語信号系活動の形成
(2)発信活動の促進の試み
国立特殊教育総合研究所 ①土谷良己
お茶の水女子大学 ②千田孝子
- 824 障害児の推理能力に関する研究(1)
Columbia Mental Maturity Scaleによる量的分析
- 825 障害児の推理能力に関する研究(2)
Columbia Mental Maturity Scaleによる質的分析
筑波大学 ①藤田和弘
" ②三沢義一
- 826 中・重度精神遅滞児の言語指導Ⅳ
音声言語のない子の指導事例
国立特殊教育総合研究所 大友昇
- 827 保育場面における“ことば”の発達について
柳城女子短期大学 飯田和也

土谷ら(822~823)の発表に対して、氏原寛(大阪外大)より指導の結果、いつ頃、どの程度の能力を身につけさせ得ると予想しているか、又、どんな意味があるか。これに対して土谷(同上)は、見通しは厳しいが、設定された場面では成果をあげているので、このような条件下での仮名文字習得を進めることは不可能ではなからう。工夫することである。そして文字信号による行動の調整は生活上重要な意義をもっている。さらに氏原(同上)から必ずしも読み書き能力に固執せず、現実にとこの子どもが生きていく場面で最も必要と思われる対人関係面での能力を開発の方が望ましいのではないかと、この意見が出された。天羽大平(日本女子大)より、書字訓練を直接行う以外の他の経験による書字発達の可能性があると思われるが、この教育プログラムとの関係についてどう思うか。これに対して土谷(同上)は、可能性はあるかも知れない。書字は行動の微調整性であるから、行動調整を高める試みはいくらなされてもよい。しかし書字そのものを成立させるプロセスを操作でき、適否を検討できるように行うとすれば、結果的にこのようなものになると考えている。富安芳和(愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所)よりプログラムを適用する際に子どもに対する利益を優先させるべきである。また、弁別刺激提示のプログラムのみではなく強化刺激の

プログラムが欲しいと意見を述べ、更に、強化刺激の与え方はどうしたのか。土谷(同上)は、強化刺激を与えるとより、子どもとのコミュニケーションと考え、子どもの行動に対するフィードバックをしていると考えている。更に富安(同上)から強化されるような課題の与え方が望ましいとの意見が出されたのに対し、土谷(同上)は、90%を基準とするということではなく、むしろ子どもに誤りの行動をさせないように状況の設定を工夫しているものであり、結果として誤反応は10%足らずになっている。大友(同上)より書字の際の基準枠は厳しい条件を提示しているのではないかと、その結果誤反応が多くなるのではないかと。土谷(同上)は、正誤の基準という点からは厳しくなるかも知れない。平面の座標抽出に基づくパターンの適否を問題としている。富安(同上)は、外発的・内発的動機づけについて、子どもが好んで行うような活動は強化刺激になりうると意見が述べられた。藤田ら(824~825)への質問として、富安(同上)は、何故障害児の比較をしたのか、藤田(同上)は、異なる種類の障害児を比較することで、これまで得られた1つの種類の障害児の研究成果を確かめ、さらに新しい知見を探る目的とした。富安(同上)は、比較研究について、(1)理論的に比較することの意味がある。(2)利益が明らかである。(3)保証されている。以外の比較は避けるべきである。土谷(同上)より、今後の研究方向について。藤田(同上)は、比較研究の意味を十分考えながら進めたい。826に対して、富安(同上)は、「ことば」の選択基準は何か。大友(同上)は、写真をPointingして/ママ/を指導した。そして他の指導に転化できるのではないかと。飯田(柳城女子短大)は、動詞と名詞の差は、大友(同上)は、名詞よりも自分の意思を伝える面で本人が動詞を用いた例がある。また、身ぶりの効果はわかってきた。しかし音声に対する関心が大きかった母親指示のプログラムを工夫すべきであった。827に対して山口(神奈川リハビリテーションセンター)は、観察方法について、飯田(同上)は、保育場面の登園時間および一斉保育における観察を3か月間行った。富田昭博(東京日の出福祉園)より、822の文字言語信号系という概念について、図形カードのカード合わせと文字カード合わせが別の信号系を形成している根拠は、土谷(同上)は、信号素材の構成度によって象徴性による区別の強いもの、形態質性の区別の強いもの、相互の組合せ、配列による区別の強いものというように考えている。(飯田和也)